

編集後記：いま思い出すのは、16年前の大雨である。

1986（昭和61）年8月4日から5日、台風10号とこれから変わった低気圧によって関東、東北地方で記録的な大雨があった。総雨量は利根川支流の小貝川流域で300～380 mm、鬼怒川上流域で200～380 mm、東北地方でも福島県から岩手県までの大平洋沿岸地方で200 mm以上、特に福島県の八木沢、宮城県の亶理、仙台などで400 mmを越えた。これらの地点では数十年に1回程度の大雨に相当した。建設省直轄の26河川で警戒水位を越え、5河川（小貝川、那珂川、久慈川、阿武隈川、吉田川）で計画高水位を越え、堤防からの

越水17箇所、破堤17箇所が記録された。宮城県内では、全半壊・流失263棟、床上床下浸水約33,000棟、山がけ崩れ625箇所、耕地被害約36,000 ha、被害額1,178億円、破堤した吉田川の北約1.5 kmにある鹿島台地域気象観測所の筐体全体が水没した。

集中豪雨や台風の影響を受けやすい季節である。数十年に1回の記録的な大雨や強風にさらされても、余裕を持って対応できるようになりたいものである。「望みは大きく、道は遠い。しかし、ともかく、歩み始めよう」（吉田章宏，1995）。

（水野 量）

大変残念なご報告です。「天気」編集委員会の関口理郎常任理事は、病気療養中のところ、6月10日夜、逝去されました。

関口理事は、「天気」創生期の1956～65年に編集幹事・編集委員として活躍されたほか、1970～72年、1995～97年には編集委員長を努められ、1992年からお亡くなりになる間際まで、「天気」担当理事として豊富

な経験と幅広い視野から「天気」の発展にご尽力下さいました。病の床で執筆・校正をして下さった5月号の編集後記は、残された編集委員に対する激励のお言葉と思えます。編集委員一同、関口理事の「天気」に対する熱意を引き継ぐことをお誓いすると共に、心よりご冥福をお祈り申し上げます。（編集委員長）

「天気」編集委員会

編集委員長 新野 宏(理事)

編集委員 神沢 博(理事)・関口理郎(理事)

藤部文昭(理事)

石田純一・大淵 濟・岡崎賢治

勝山健一・勝山 税・金田昌樹

川島正行・小出 寛・桜井敏之

佐藤晋介・小司禎教・住 明正

関山 剛・高野清治・高橋 宙

滝下洋一・田口晶彦・寺坂義幸

中西幹郎・中村 尚・新村典子

板東恭子・別所康太郎・水野 量

山本 哲

地区編集委員 北海道 西 道夫・向川 均

東北 小柴 厚・岡本 創

関東 城尾泰彦・横井貴子

中部 永尾一平・渡辺真二

関西 和田高秀・山中大学

九州 金崎 厚・中島健介

沖縄 我謝良弘

編集書記 遠藤和子

複写される方へ

本誌に掲載された著作物を複写したい個人または団体（図書館も含む）は、著作権者から複写権等の行使の委託を受けている下記の団体から許諾を受けて下さい。

〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル

学術著作権協会

Tel : 03-3475-5618, Fax : 03-3475-5619

E-mail : naka-atsu@muj.biglobe.ne.jp

Notice about photocopying

In order to photocopy any article from this publication, you or your organization must obtain permission from the following organization which has been delegated for copyright for clearance by the copyright owner of this publication.

Japan Academic Association for Copyright Clearance (JAACC)

9-6-41 Akasaka, Minato-ku, Tokyo 107-0052, Japan

Tel : 81-3-3475-5618, Fax : 81-3-3475-5619

E-mail : naka-atsu@muj.biglobe.ne.jp